

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：R6年2月22日

事業所名：あい・ランド

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・指定基準に基づき、定員に応じたスペースを確保しています。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、適切なスペースの確保に努めます
	2 職員の適切な配置	・指定基準に基づいて、適切に配置しています。	できているとの評価だった。	引き続き、職員の適切な配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・障がい特性に配慮した環境づくりを行っているが、事業所が2階にあるため、バリアフリー化は難しい。	できているとの評価だった。	引き続き、環境整備に努めます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・サービス提供終了後の清掃・整理整頓を行っている。	できているとの評価だった。	引き続き、清潔な空間づくりに努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・打ち合わせや反省会を随時実施している。	/	引き続き、打ち合わせなどの時間をきっちり持ちます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者による外部評価の実施はしていませんが、地域の会議や連絡会、支援者会議などで情報交換・共有をしています。		引き続き、外部からの受け入れを積極的に行います。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・事業所内研修や外部研修にも積極的に参加している。		引き続き、研修に行き学びます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・丁寧なアセスメントを心がけている。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、ニーズの聞き取りに努めます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別活動と集団活動を組み合わせた計画書の作成をしています。		引き続き努めます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・具体的に記載するようにしています。		引き続き努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・常時計画書の確認ができるように保管している。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、計画に沿ったサービス提供を行います。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・意見交換しながらプログラムを決めている。		引き続き、チーム全体でプログラムを考えていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・送迎だけでなく、活動内容等も柔軟に対応している。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、利用時間に応じて満足いただける活動内容を提供します。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・子どもの姿に合わせてプログラム内容を発展させていくようにしています。		引き続き、プログラム内容の工夫をしていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・支援開始前には、活動の流れや担当、前日の児童の様子など細かく共有している。		引き続き、職員間での情報共有を徹底します。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了後には、様々な気付きの意見交換をする時間を設けている。		引き続き、振り返りの時間を多く持ちます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・個別の支援を記録し、記録をふまえて支援の検証を行っています。		引き続き、正確に記録していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・6か月に1回、または必要に応じて実施している。		引き続き、必要に応じてモニタリングを実施します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・積極的に声をかけて実施している。		引き続き、担当者会議に積極的に参加します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・保護者の方からの情報は契約時などに聞き取りを行っています。要望に応じて、情報提供にも参加しています。		引き続き、連携していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・現在、小学部対象のため、対象の児童はいませんが、地域の自立支援協議会などに顔を出し、円滑な移行支援に向けて行動している。		引き続き必要に応じて情報の共有をします。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・積極的に参加している。		引き続き、研修に積極的に参加し、学びを深めます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・交流する機会の提供はあえて行っておりません。	コロナ渦の為、交流できる機会がなくなっているのは仕方ないという意見と、必要性を感じないという意見だった。	必要性も含めて検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・例年はお餅つき会を実施していますが、昨今の現状を鑑みて今年度は開催できていません。	コロナ渦の為、必要性を感じないという意見だった。	コロナウイルスの感染状況を鑑みて、活動の幅を広げていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に説明を行っています。	できているとの評価だった。	引き続き、努めます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・面談にて行っています。	できているとの評価だった。	引き続き、努めます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・様々な案内を配布している。	概ねできているとの評価だった。	オンライン、後追い配信など、働いている方にも考慮した開催方法を検討していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳の活用、送迎時のお話にて共有理解の徹底をしています。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、情報共有・理解の徹底をしています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・お問い合わせがあれば、その都度対応させて頂いております。	できているとの評価だった。	引き続き、適切な対応をできるよう努めます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・事業所内での開催は延期したが、ママ友会ではコロナウィルスの状況を見ながら継続しています。	概ねできているとの評価だった。参加のタイミングが合わないという意見があった。	引き続き、ママ友会の開催そして、感染防止対策をしながら事業所内での交流に努めます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情があった際は迅速な対応ができるように、マニュアル策定をしています。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、苦情があった際は、迅速な対応に努めます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・連絡帳、必要に応じて文字盤や筆記などの各種伝達ツールを利用しています。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・定期的に法人で通信を発行しています。	できているとの評価だった。	引き続き、情報の発信を行います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・契約時に説明をしています。また、個人情報等の記載のある書類は、鍵棚に保管しています。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、十分に気を付けます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・マニュアルを作成し、緊急対応に取り組んでいます。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、マニュアルの定期的な見直し・確認に努めます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・マニュアルに沿った避難訓練を定期的に行っています。	概ねできているとの評価だった。	引き続き、避難訓練を実施します。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・職員研修を徹底しています。		引き続き、虐待防止研修に力を入れます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・現在身体拘束を必要とする児童はいません。		必要となる児童の利用が開始した場合、保護者や医療機関に指示を仰ぎ、適切な支援に努めます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者からの情報提供に基づき対応します。		引き続き、情報を随時確認できるようにします。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・報告書を作成し、共有しています。		引き続き、情報の共有を徹底します。